

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公表番号】特表2014-505151(P2014-505151A)

【公表日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-011

【出願番号】特願2013-552936(P2013-552936)

【国際特許分類】

C 08 J 3/12 (2006.01)

【F I】

C 08 J 3/12 C E Y A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年2月4日(2015.2.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) 少なくとも部分的に中和されていてよい、少なくとも1種のエチレン性不飽和の酸基含有モノマー、

b) 少なくとも1種の架橋剤、

c) 少なくとも1種の開始剤、

d) 任意に、a)に記載のモノマーと共に重合可能な1種以上のエチレン性不飽和モノマー及び

e) 任意に1種以上の水溶性ポリマー

を含むモノマー溶液又はモノマー懸濁液を重合し、ここで、得られたポリマーを乾燥、粉碎及び分級し、その際、ポリマー粒子をm~n(μm)の範囲の粒径に分級し、mは50~300の範囲の数値を意味し、かつnは400~1,200の範囲の数値を意味し、これらの分級されたポリマー粒子を、

f) 少なくとも1種の表面後架橋剤及び

g) 任意に少なくとも1種の多価金属カチオン

でコーティングし、かつ熱により表面後架橋することによって、高い膨潤速度を有する吸水性ポリマー粒子を製造する方法において、該熱による表面後架橋の後の吸水性ポリマー粒子の湿分含有率を1~150質量%高め、かつ該吸水性ポリマー粒子を引き続き乾燥することを特徴とする方法。

【請求項2】

前記熱による表面後架橋の後の前記吸水性ポリマー粒子の湿分含有率を10~25質量%高めることを特徴とする、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記湿分含有率を高めた後の前記吸水性ポリマー粒子を150未満の温度で乾燥することを特徴とする、請求項1又は2記載の方法。

【請求項4】

前記湿分含有率を高めた後の前記吸水性ポリマー粒子を10質量%未満の湿分含有率まで乾燥することを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載の方法。

【請求項5】

前記乾燥、粉碎及び分級したポリマーゲルを、前記表面後架橋剤f)0.05~0.2

質量%でコーティングすることを特徴とする、請求項1から4までのいずれか1項記載の方法。

【請求項6】

前記乾燥、粉碎及び分級したポリマーゲルを、前記多価金属カチオン g) 0.02~0.8質量%でコーティングすることを特徴とする、請求項1から5までのいずれか1項記載の方法。

【請求項7】

前記湿分含有率を高める前の前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $100 \times 10^{-7} c m^3 s / g$ の液体誘導性及び少なくとも60秒のVortext法による吸収速度(Vortext)を有することを特徴とする、請求項1から6までのいずれか1項記載の方法。

【請求項8】

前記湿分含有率を高める前の前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $15 g / g$ の遠心分離保持容量を有することを特徴とする、請求項1から7までのいずれか1項記載の方法。

【請求項9】

前記モノマーa)がアクリル酸であることを特徴とする、請求項1から8までのいずれか1項記載の方法。

【請求項10】

請求項1から9までのいずれか1項記載の方法に従って得られる吸水性ポリマー粒子。

【請求項11】

i) 少なくとも部分的に中和されていてよい、少なくとも1種の重合したエチレン性不飽和の酸基含有モノマー、

ii) 少なくとも1種の重合した架橋剤、

iii) 任意に、i)に記載のモノマーと共に重合した1種以上のエチレン性不飽和モノマー、

iv) 任意に1種以上の水溶性ポリマー、

v) 少なくとも1種の反応した表面後架橋剤及び

vi) 任意に少なくとも1種の多価金属カチオンを含む、高い膨潤速度を有する非凝集吸水性ポリマー粒子であって、その際、該吸水性ポリマー粒子が5質量%未満の湿分含有率を有し、かつ20,000倍に拡大した場合、目に見える亀裂を粒子表面に示す非凝集吸水性ポリマー粒子。

【請求項12】

前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $100 \times 10^{-7} c m^3 s / g$ の液体誘導性及び60秒未満のVortext法による吸収速度(Vortext)を有する、請求項11記載のポリマー粒子。

【請求項13】

前記吸水性ポリマー粒子が、少なくとも $15 g / g$ の遠心分離保持容量を有する、請求項11又は12記載のポリマー粒子。

【請求項14】

前記重合したモノマーi)が、重合したアクリル酸である、請求項10から13までのいずれか1項記載のポリマー粒子。

【請求項15】

請求項10から14までのいずれか1項記載の吸水性ポリマー粒子を含む衛生用品。